

# Airport



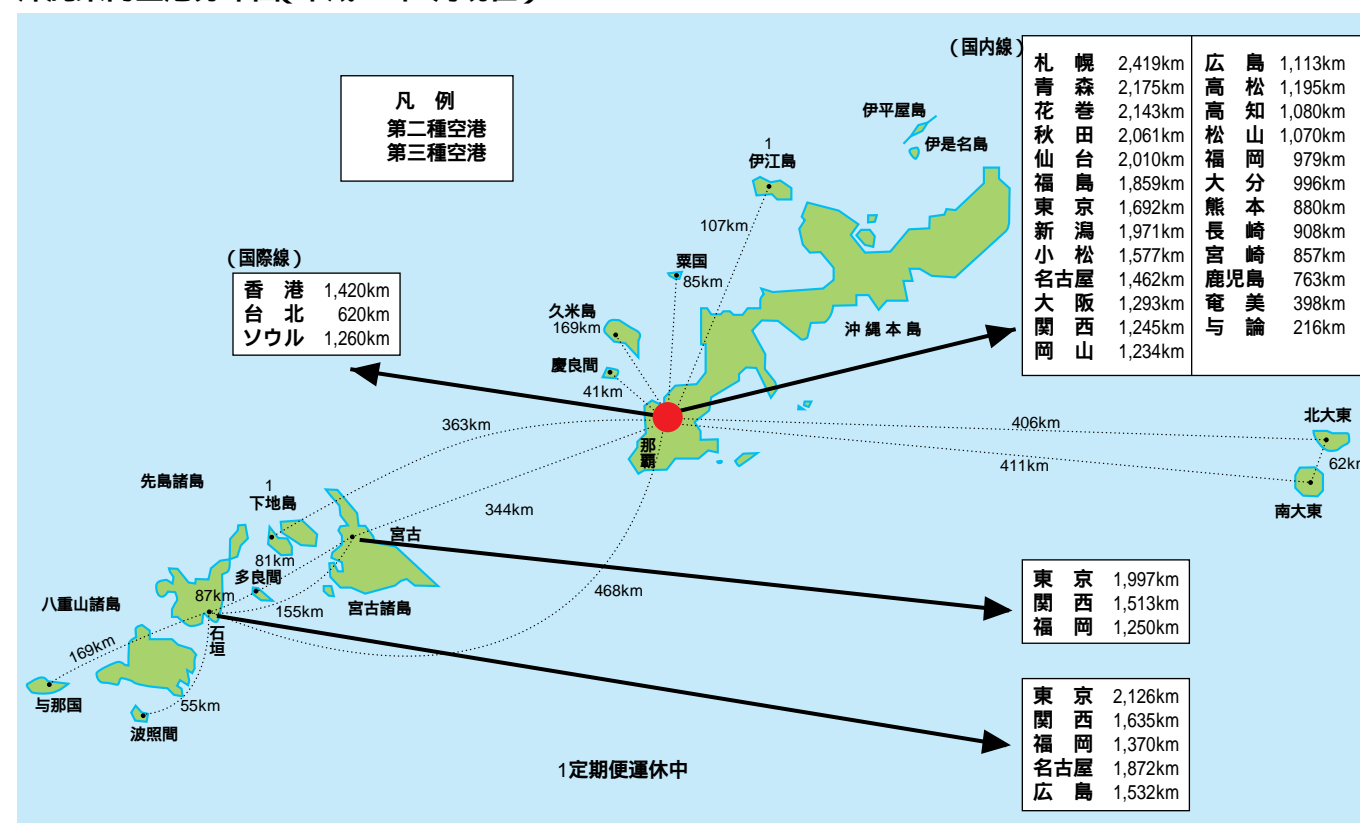
## 新しい南の空の玄関口 那覇空港新ターミナル 地域供用に向けて

いま沖縄では、新しい南の空の玄関口、那覇空港新ターミナル地域供用に向けて、整備が最盛期を迎えています。島嶼県である沖縄県では、航空輸送が県内外への必要不可欠な輸送手段であり、なかでも那覇空港は拠点空港として重要な役割を果たしています。しかし、航空需要の増加に対してターミナル諸施設は取扱能力が限界にきており、施設自体の老朽化、本土線・離島線ターミナル等が分散していることによる乗り継ぎの不便さなど利便性が低下している状況です。そこで計画容量を国内旅客二〇〇万人と設定し、これに対応した施設整備を図っているところです。新たな国内旅客ターミナルは、本土線・離島線を統合し、直接航空機への乗降が可能なるポットをより多く確保できるフィンガー方式として、国際線ターミナルと南隣接地に整備しました。

沖縄総合事務局では、新ターミナル地域において、駐機場を計画時の二十五スロットから四十三スロットへ増設する、ターミナル前の道路には出発階と到着階に分離したダブルデッキ方式を採用して道路混雑の緩和を図る、駐車場についても、収容台数を四、四〇〇台と計画時の約3倍とする、新ターミナル地域の整備に伴って移動が必要になる整備地区は滑走路沖側に集約整備するなどの旅客の利便性を大幅に改善する内容の整備を行っています。

新国内線旅客ターミナルビルは、平成十二年五月二十六日に供用を予定して整備を精力的に進めているところであり、今後、新ターミナルビルに機能が移転した後は、エプロンの拡充等を進めていく予定です。

沖縄県内空港分布図(平成11年3月現在)



### エプロン

計画当初	25バス
計画	43バス
ターミナルビル供用時	38バス

### 内訳

大型機用	16バス
中型機用	8バス
小型機用	12バス
STOL用	2バス

### 道路

ターミナルビル供用時	
平面道路	2,400m
高架道路	1,310m

### 駐車場

計画当初	1,478台
計画	4,400台
ターミナルビル供用時	
一般車	1,533台
バス	79台
タクシー	約350台

ターミナル地域の整備として主にエプロン及び道路駐車の概要は以下のとおりです。